

引き続き皆様のご協力を ～ 整備局防災グループ ～

日頃から、中部地方整備局の防災に関する業務に対し、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

防災エキスパートの皆様には、水防演習や防災訓練への参加、重要水防箇所の合同巡視、意見交換会等を通じて貴重なご意見を頂き、感謝しております。

さて、一昨年9月の九州北部豪雨、昨年7月の西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震など、毎年どこかで大きな災害が発生しています。

中部地方では幸い大きな被害は免れておりますが、近い将来、南海トラフ巨大地震や計画規模を超えるような洪水等の発生が懸念されているところです。

災害の激甚化、頻発化が進む中、国土交通省に対する防災・減災や地域支援への期待は益々大きくなっており、今年度、整備局の防災体制を拡充いたしました。企画部防災課から局長直属の組織として「防災グループ」に組織改編し、災害対応の強化を図っているところです。

一方で整備局・事務所とも人員は減少しつつあり、災害対応の経験者も少なくなってきたことから、防災エキスパートの皆様の豊富な知識な経験や技術力のお力添えをいただきながら、整備局と中部地域づくり協会が連携して、地域の安全・安心に貢献できるよう精一杯取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。



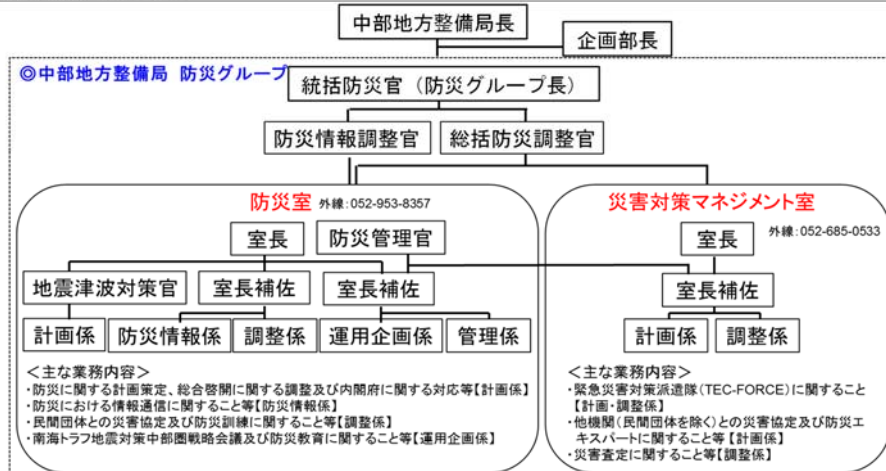
國村 一郎 総括防災調整官

中部地方整備局の防災体制(2019年度)

国土交通省

○迅速かつ円滑な災害応急対応のために、部長級の「統括防災官」をヘッドとする防災専属の組織(約20名規模)を設置。

○災害時におけるTEC-FORCEの派遣調整・指揮命令体制を強化するとともに、平常時においてもTEC-FORCEによる支援計画の検討、自治体、警察、消防、自衛隊等の関係機関との連携体制の構築、TEC-FORCE隊員の訓練・研修等を実施。



地区代表・世話役会議

平成31年4月24日に、中部地方整備局中部技術事務所2階会議室において、平成31年度地区代表・世話役会議を開催しました。

当日の会議内容を、お知らせいたします。

今回は、中部地方整備局から防災組織の改編、テックホース受援計画策定等の情報提供、事務局からは昨年度の活動報告と平成31年度活動計画等について提案しました。

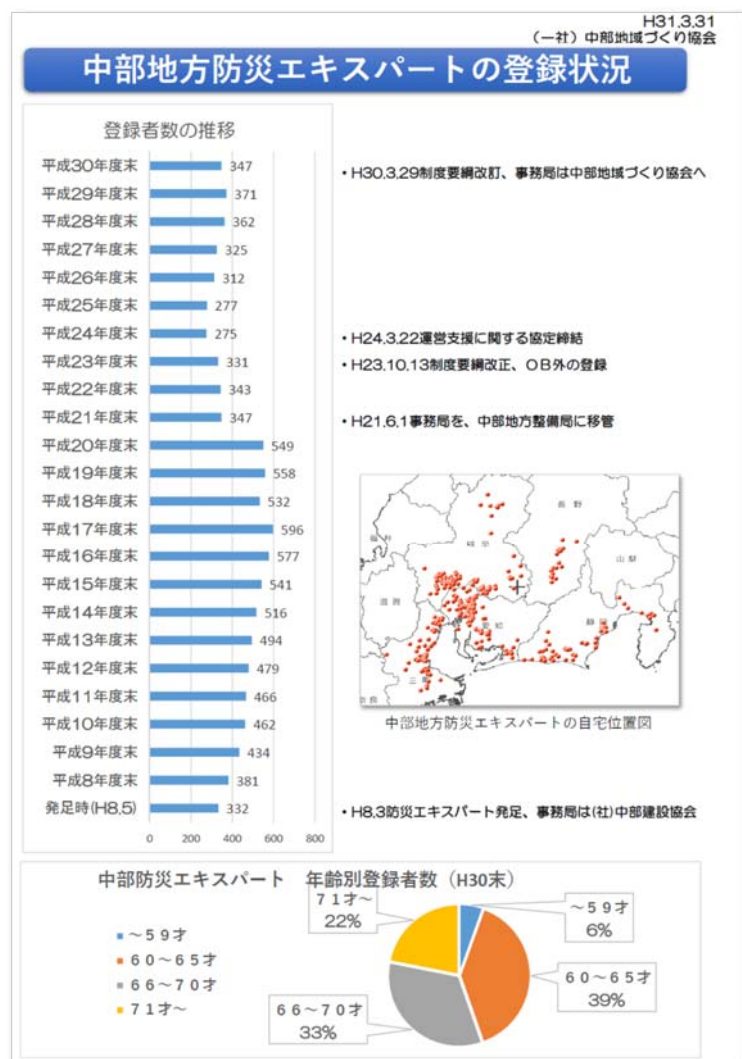
会議での意見交換にて、出されました主な意見と回答のまとめを以下に示します。

【主な意見と回答のまとめ】

- 道路関係をはじめ一部の事務所において地区別会議が未実施となりましたが、活動が円滑に、また効果的に行えるよう整備局・事務所と事務局・事務局支部は会議等の実施、参加に努めていくこと。
- 水防箇所合同巡視など、行事等の連絡は早めをお願いしたいこと。
これらについて、整備局から各事務所に対し文書にて依頼します。
- 地区別会議の開催単位につきましては、少数での開催、ブロックでの開催など、臨機に対応をお願いします。
- 整備局の出張所など出先の要員が不足していること、出水時巡視の委託状況の変化等ありますが、防災エキスパートが現場に行くなど職員の代わりとしての支援ではなく、助言やサポートの支援が基本となるよう注意していきたい。
- 国交省を退職した方が積極的に登録して頂くように、整備局・事務局ともに働きかけをします。



平成31年度 地区代表・世話役会議



○河川重要水防箇所合同巡視に参加

出水期を前に、各河川における重要水防箇所の合同巡視が行われ、各地区の防災エキスパートが参加しました。

※ すべて敬称略

▶ 沼津河川国道事務所

5月22日(火) 狩野川 2名 長尾 和男、茶山 満
25日(金) 狩野川 4名 茶山 満、工藤 隆、
長島 郁夫、佐野 純一



▶ 三重河川国道事務所

5月28日(月) 宮 川5名 奥川 佐、長澤 宏和、
和田 光広、堀江 勝樹、大野 克典
29日(火) 櫛田川5名 笠井 泰宏、佐藤 久則、
水守 安二、稲垣 億作、堀江勝樹
30日(水) 雲出川5名 奥川 佐、飛岡 力弥、
和田 光広、堀江 勝樹、大野 克典
31日(木) 鈴鹿川5名 辻岡 健一、中西 三男、
藤田 孝志、梶川 利満、作田 豊彦



▶ 庄内川河川事務所

6月11日(月) 庄内第二 2名 笹森 伸博、山田 泰三
12日(火) 庄内第一 3名 鈴木 昭二、小河 俊美、
野崎 幸道
22日(金) 庄内第二 2名 奥田 譲、山本 昭弘、
26日(火) 土岐川 3名 小河 俊美、奥田 譲、
鈴木 康平
28日(火) 庄内第一 4名 鈴木 正典、溝口 敏明、
山本 昭弘、境 道男



▶ 豊橋河川事務所

6月25日(月) 豊川 3名 長嶋 佳孝、小林 智、
大森 正昭



○洪水対応演習・防災訓練に参加

▶ 浜松河川国道事務所 災害対策機械操作訓練・決壊シュミ勉強会

5月24日（木）、事務所会議室において「堤防決壊時シュミレーション勉強会」が行われました。

また、5月29日（火）には、天竜川右岸高水敷にて「災害対策用機械操作訓練」が行われ、防災エキスパートからは以下の皆さんが参加しました。

- ・訓練参加者 延4名（松浦 勝巳、新村 孝行、水野 益宏）



▶ 『平成30年度 木曽三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練』

5月27日（日）、岐阜市長良雄総河川敷において木曽三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練』が開催され、防災エキスパートの皆さんは【演習項目】「防災エキスパートによる災害報告」を行っています。

- ・訓練参加者 4名（古澤 眞一、林 正順、高木 守夫、大塚 康司）



▶ 平成30年度 大規模津波防災総合訓練（四日市港霞埠頭）

11月3日（土）我が国有数の石油化学コンビナートを擁する四日市港で、企業や行政など、関係機関が一体となり「上空、海上、陸上」の総合的な防災訓練が実施されました。

防災エキスパートからは以下の皆さんが訓練に参加されました。

- ・訓練参加者 3名（川原林 哲也、藤田 孝志、谷口 孝司）



○災害出動（平成30年7月豪雨）

▶ 木曽川上流河川事務所 平成30年7月豪雨

長良川では、5度にわたる水位のピークがあり、出動水位を超える水位を3度観測しました。

7月8日の午前3時頃には、岐阜市の基準観測所（忠節地点）において最高水位に達し、戦後最大である平成16年洪水以来、約14年ぶりの大規模出水となりました。

- ・被災状況の確認 1名（古澤 眞一）



○各事務所との意見交換会 ～防災エキスパート～

各事務所で意見交換会が開催されました！

平成30年度に各地区にて行われた、事務所との意見交換会の様子は以下のとおりです。顔の見える関係が、いざという時のスムーズな活動の第一歩になると思います。

実施日	開催事務所	整備局	事務所	エキスパート	備考
6月27日	木曾川上流河川事務所	3名	23名	19名	木曾上、越美
7月17日	多治見砂防国道事務所	—	10名	8名	
7月20日	浜松河川国道事務所	—	17名	18名	
7月25日	沼津河川国道事務所	—	13名	9名	
8月28日	静岡河川事務所	2名	16名	17名	
10月3日	長島ダム管理所	—	3名	6名	
11月19日	豊橋河川事務所	1名	9名	17名	豊橋、設楽、矢作ダム
12月17日	静岡国道事務所	1名	8名	12名	
計		7名	99名	106名	



木曾上・越美砂防エキスパート・アドバイザー会議



多治見エキスパート意見交換会



静岡西部地区意見交換会



沼津エキスパート連絡会議



静岡河川事務所 意見交換会



エキスパート三河地区会議



静岡国道 意見交換会



長島ダム 意見交換会

H30.7 西日本豪雨での 防災エキスパート活動の紹介

● 四国地方防災エキスパートの活動

7月5日から8日にかけて、梅雨前線が西日本に停滞し、愛媛県では記録的な大雨となり、死者21人、行方不明者4人などの人的被害や、損壊9棟、床上浸水3,723棟、床下浸水1,956棟など住家被害が発生しました。

このため、四国の防災エキスパートは整備局からの支援要請を受け、以下の活動を行いました。



道路調査班の成果報告状

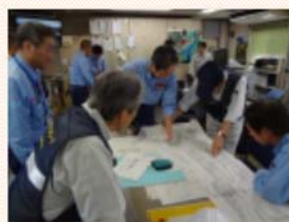
要請日	支援場所等	支援日数	支援期間	出動人員	要請理由（活動内容）
7月6日	物部川右岸	1日	6日～6日	2	物部川出水による堤防法面崩壊の恐れのため、水防工法の指導
7月7日	吉野川左岸	1日	7日～7日	4	台風7号出水、水防活動のため水防工法の指導。鴨島(出)、上板(出)
7月9日	河川班	3日	9日～12日	5	災害現場の被害状況調査
	調整班	5日	9日～13日	2	
	道路班	4日	10日～13日	4	
	ダム班	1日	10日～11日	2	
	ドローン班	4日	10日～13日	3	
7月24日	かわかみ荘	1日	26日～26日	2	特別養護老人ホーム「かわかみ荘」周辺の崩壊法面調査
7月30日	宇和島・西予	3日	8/1日～3日	4	TEC-FORCEが調査した30カ所に於いて、次の台風12号等の降雨による土砂再移動等の状況を調査
合計		23日		28名	

● 中国地方防災エキスパートの活動

平成30年7月豪雨災害に対し、中国地方整備局の事務所等からの出動要請を受け、被災地調査や河川堤防復旧工法等の技術的助言などの支援活動を行いました。



岡山河川事務所 高梁川水系小田川被災箇所



現地対策室にて、堤防復旧工法等の打合せ

平成30年7月豪雨災害 防災エキスパート派遣状況

要請日	派遣先	防災技術支援者	支援内容	派遣期間
H30.7.10	岡山河川事務所（高梁川出張所）	12人・日	河川堤防の復旧工法等に対する技術支援等	7/10～7/15
H30.7.10	中国地方整備局（本局）	6人・日	TEC-FORCE関連業務に対する技術支援等	7/10～7/11
H30.7.12	岡山国道事務所	1人	TEC-FORCE関連業務に対する技術支援等	7/13
計		19人・日		

出水期前の重要水防箇所巡視や、水防訓練等への参加・協力をお願いします。

出水期を前に、各地域・各河川等において水防訓練や重要水防箇所の合同巡視などが行われます。

防災エキスパートの皆様には、事務局支部や地区代表をつうじてお知らせがありましたらぜひ参加をお願いいたします。



災害対策機械操作訓練（浜松）



多治見意見交換会 現地視察



静岡河川 意見交換会 現地視察

お知らせ

【5/19】豊川・矢作川連合総合水防演習・ 広域連携防災訓練に参加しました。

この演習・訓練は、豊川及び矢作川における洪水被害、三河港・衣浦港における高潮被害、矢作川流域における土砂災害等を想定し、水防関係者の水防技能の習熟と、防災関係機関が相互に連携した複合型災害に対する各種訓練による、防災体制の確立を図ることを目的に実施されました。

三河地区から5名の防災エキスパートが参加し、堤防点検報告と水防体験の指導を行いました。

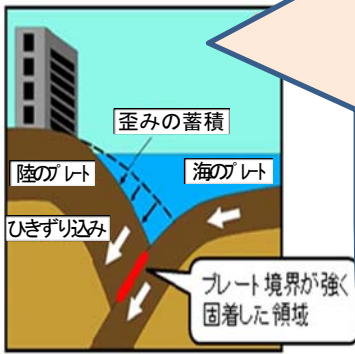


【開催日時】
平成31年
5月19日
(日)
9:00~12:00
【実施場所】
矢作川右岸
豊田大橋河川敷
(豊田市白浜公園)

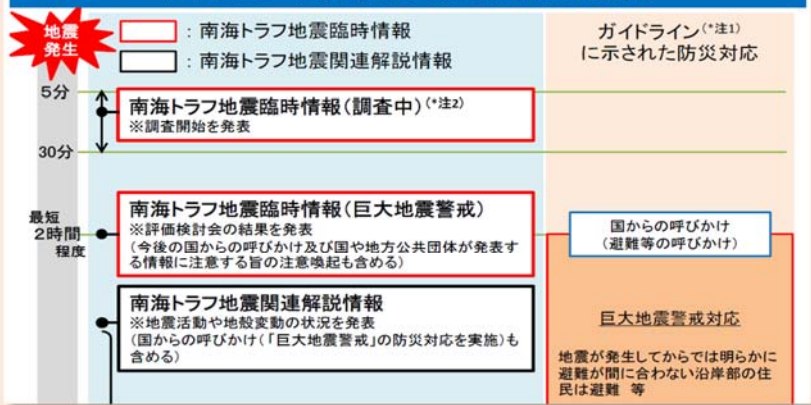
左上：水防体験の指導
左下：漏水の報告
右：整列時の状況

「南海トラフ地震に関連する情報」の名称について

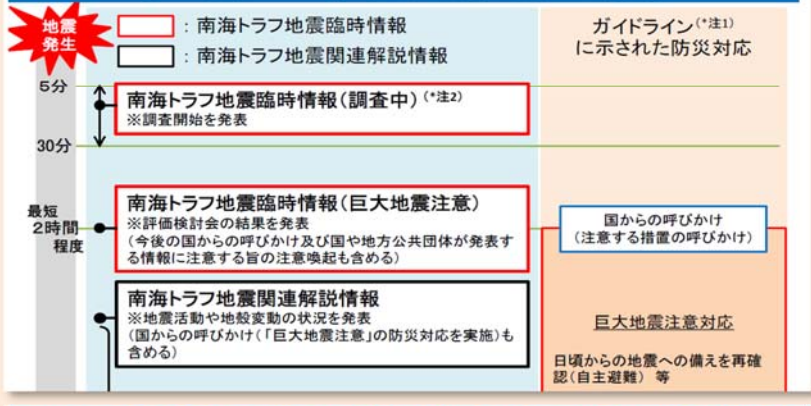
平成31年3月29日気象庁では、「防災対応検討ワーキンググループ」の報告書を踏まえ、南海トラフ沿いで発生した異常な現象の観測結果や分析結果を発表する情報の名称を決定しました。



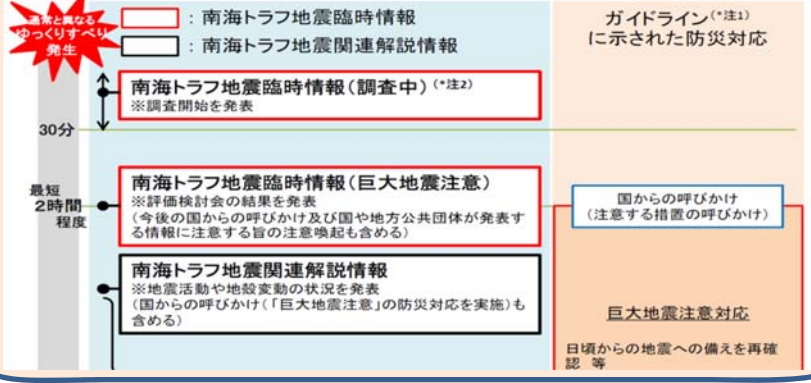
南海トラフ沿いの異常な現象への新たな防災対応を踏まえた情報発表の流れ【「半割れケース」に相当する現象と評価した場合】



南海トラフ沿いの異常な現象への新たな防災対応を踏まえた情報発表の流れ【「一部割れケース」に相当する現象と評価した場合】



南海トラフ沿いの異常な現象への新たな防災対応を踏まえた情報発表の流れ【「ゆっくりすべりケース」に相当する現象と評価した場合】



～ 防災エキスパート会員登録状況 ～
平成31年4月1日現在 346名

加入・退会、勤務先等変更のある方は、下記事務局までご連絡下さい。

発刊：中部地方防災エキスパート運営支援事務局
(一社)中部地域づくり協会 企画技術部
名古屋市中区丸の内三丁目5番10号 名古屋丸の内ビル8階
TEL052-962-2227 FAX052-950-1178